

ごあいさつ

日本針穴写真協会（JPPS）の会員展『針穴写真展2016』を開催いたします。

日本針穴写真協会は、国内外に138名の会員（2016年7月20日現在）を擁する国内最大の針穴写真愛好家の団体で、設立当初より全国に針穴写真の魅力をご紹介し、おひとりでも多くの方に針穴写真の素晴らしさを体験していただくことを目的に、ワークショップ、撮影会、例会、会員展などの活動を行っています。

なかでも、毎年夏に開催される会員展は、普段なかなか会うことのできない会員同士の貴重な交流の場であると同時に、会員以外の方々にも私たちの日頃の成果を広く知っていただける最良の機会となっています。今年も昨年と同会場で70点余の作品を展示します。

針穴写真の魅力はカメラを簡単に手作りできることから、自由な発想で作った自分だけのカメラを使い、レンズで撮影された写真とはひと味もふた味も異なる映像を楽しめることにあります。会員の作品を一堂に展示することによって、針穴写真による幅広い表現の可能性を感じていただけることと思います。

また、ここ2～3年はデジタルカメラで撮影した針穴写真も出展されています。3ヶ月に一度開かれる例会でもデジタルピンホールの作例が披露され、技術的な意見交換が活発に行われています。銀塩による針穴写真が年を追うごとに「作家性」を獲得してきたように、デジタルピンホールならではの表現を活かした作品作りもまた発展することを期待しています。

ご来場くださった皆さまには、会場でゆっくりとご鑑賞いただき、針穴写真の楽しさを私たちと一緒に味わっていただければ幸いです。本日は暑い中、会場に足をお運びいただきまして誠にありがとうございました。

2016年8月

日本針穴写真協会
会長 田所美恵子